

ふれあいと語らいの同窓会



東実同窓会報 No.12

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL. 03-3732-4481

東京実業高校同窓会編集委員

希望の年を迎えて

会長 第23期卒 山本徳太郎



明けましておめでとうございます。21世紀の初春にあたり、東京実業高等学校関係者並びに、同窓会の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本校においては、21世紀元年が「夢」や「希望」に満ちた世紀となることを、願いをこめて「希望の年」と期待できます。

「人・心・宇宙・自然」等世界の中の日本としての責任

も問われる年であると共に、本年は国の大きな目標の一つである教育改革の推進が叫ばれています。ここで、本校としても再度女子教育に取り組むべく20世紀中に諸施策の検討改善を進めつつあります。男女教育への挑戦については、誇りある上野塾の教育理念を徹底して立派に目標達成されん事を祈念申し上げます。

又今後も同窓会に於いては転換期を迎えた本年は、全力を挙げて会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。



平成12年 東京実業高等学校同窓会・新年会 2000.1.22 新横浜富士ビューホテル (16期～34期)

徒然なるままに



理事長 上野 雅子

ミレニアム、ミレニアムと騒がれて何事もなく平穩無事に2000年を迎えてから早や1年。到頭21世紀が始まった。この20世紀は人類にとって本当に目まぐるしく世界が変化してきた。私が生まれたのは1943年、中国の張家口という町で生まれた。父は教員の世界を飛び出し、蒙古政府の役人として中国大陸に渡っていた。その直前に結婚していた母明子を伴い、新婚旅行を兼ねた北京での宿泊は「北京飯店」のスイートルームで、その広さにびっくりしたとよく母に聞かされた。飯店とは、ホテルの意味で北京では一番のホテルであつたらしい。中国の冬の寒さは、尋常ではなく濡れたタオルを持って一步外へ出ようものなら、すぐにカチンカチンに凍ってしまったという。ドアのノブを素手で握ればくっついてしまい皮がむけたという。母はそんな環境の下、体を悪くし、なかなか子供に恵まれず、やっとの思いで私を産んだそうだ。その後も身体の調子が思うようではなく、私は中国人のあま（お手伝いさん）に育てられた。そのあまが作る中華料理は絶品で父は戦後日本へ戻ってきた後も、そのあまの事をよく話してくれた。私の出生一年後、日本の戦局は日増しに悪化し、現地召集で父達役人も戦場へ駆り出される事となり、優雅な暮らしをしていた日本人達は、夫を失って集団生活をする事となり、厳しい生活を余儀なくさせられた。ある若夫婦はお互いに連絡を取り合っ

て自決しようと決め、その前に赤ん坊を殺しいざ母親が自殺をしようとした時に皆が気づき、それを止め夫の方にも連絡をとってやめさせたという話も、母からよく聞かされた悲惨な話として私の記憶に残っている。ロシア兵が宿舎に押し入り物品を盗んだり、若い女性は襲われないように坊主頭にして男装させたりと内地の様子とは又、違った苦労が数多くあったという。母は幼い私をかばってロシア兵に刀の峰で目をたたかれ目を悪くした。私は当時2・3才。全然といって良い程記憶には無いが、母の話はまるで「そうだった、そうだった」と思える程鮮明に頭の中に入っている。戦後引きあげ船で苦労を共にしたお仲間達が一足先に帰国してしまい、幼い私を抱えた母は病弱のため、後発の病院船まで待たなければな

らなかつた事。その船は周り中が結核患者だった事。私が男の人を恐がって船員さん達に懐かず、母が困った事。やっとの思いで東京駅に着いた時、毎日のように私達を探して駅に来ていた父に、私が何のためらいもなく手を出して抱っ子してもらった事等々、戦中戦後の話は尽きる事なく母から聞かされていたが、不思議な事に父は絶対に戦争中の事を口にしなかつた。余程嫌な事があつたのであろうと想像するが、戦友なる者を父の交友関係からは見い出せなかつた。戦後の日本の復旧は目覚ましいものであるが、戦後数年間は電車に乗れば必ず傷病兵がいて哀愁漂うアコーディオンを弾き物乞いをしていたり、列車に乗ればやみ屋さんが大きな荷物を持ち込み、それを摘発するように警官が乗り込んできて取り締ったりと、今の若者達には想像もつかない光景が日常茶飯事だった。あれから50数年。豊かになった日本は、本当に幸せをつかんだのだろうか？ 大人の愚行、子供の犯罪、精神面での貧困は物が無かつた時代よりも、ずっと劣っているように感じる。21世紀を迎えた今、これからの人生をどう生きるか、真剣に考えなくてはと思っています。



新しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

代表取締役 佐々木 努

〒146-0095 東京都大田区多摩川1-18-15
TEL (03)3758-0710 FAX (03)3758-2821

第15回卒 佐々木 努

21世紀の東実

学校長 上野 毅



同窓生の皆様、21世紀という大きな節目にあたり、ここに新世紀の御挨拶を申し上げる事ができますことは、大きな喜びであります。前号にひきつづき教育改革について書きます。2002年より公立学校で完全実施されます内容について少しふれてみます。

まず、学校5日制であります。次に「選択必修」の単位数の拡大があげられております。新しい科目として「総合学習」の時間や「情報」がスタートします。「国際理解」や「福祉」といった今までの教科ではまったくやらなかったものが出てきます。

以上は、文部省管轄のオールジャパンで行う事です。

次に東京都の内部事情の話をしてします。大田区韮谷に今、羽田総合高校（工業系）を建築中です。又、もう一つ大田地区単位制工業高校を東六郷（京浜急行、雑色駅のそば）に作る事が決まりました。本校のすぐそばに2つの公立高校を作るつもりなのです。

一方、我が校は現在4つの科を持つ総合学園として発展して来ました。つまり普通科・商業科・機械科・電気科です。商業系統、工業系統、普通科とこの様な高校は他にあまりない大きな特徴です。文部省の学習指導要領の変更、そして、東京都の外部環境の変化の2点に対処するため、東京実業高校は、今、平成13年度（2001年度）より大きく変わろうとしています。公立の改革の一年前より前倒して、21世紀という大きな節目に偶然合い、4つの大きな改革をします。(1)完全5日制 (2)今までの普通科を普通科文理コースとする。一方商業科を普通科ビジネスコースとし、両方共、男女共学とする。(3)各学科・コースを越えて選択授業を受けられる様にする。

進路別にも選択科目を設置し受けられる様にする。(4)入学後、自分の進路が少し見えて来た時、科・コースを思いきって変えたいと希望が出て来た時、本人の資質を勘案し、変更が適切ならば本人の希望がかなえられる様に制度上可能にする。

昔は高校にはそれぞれ相応の特色がありました。今は普通科志向が強く、特色が薄れてきています。その中で本校は4つの科を持ってやってきた大きな特色を生かし、

上記の様な変革を考えました。都立高校の総合高校的要素を加味し、都立や他の私立にない特色を持って教育をして行きたいと願っています。

さて2000年8月には女子が入学しても設備面では決して不満の出ない様な学校らしくない学校、男子も女子も勉強外では、日常をのびのびすごせるスペースを作りました。せまい校地を広げる事は出来ませんが、有能な女性インテリアデザイナーを招聘し「ホテルオークラ」にも敗けない様な空間造りをしたつもりです。

さて例年秋には来年度の募集の説明に中学校から招かれて高校説明会に出席する事がございます。2000年の秋も各中学校から招かれて、前記の本校の改革について説明をしました。中でも本校の商業科が昭和29年より昭和60年まで約30年間男女共学であった事実を打ちあげますと聴衆の女子生徒は「ハッ」という驚きとも安心感とも言うべき声をもらします。すかさず私はこう言います。

「安心して下さい皆さんが初めての女子生徒ではないのですよ。それに今、同窓会で女性の同窓生が大いに活躍して下さっているから、他の学校の同窓会が羨む程活性化しているんです。もし入学したら良き先輩がリードしてくれますよ。」

今の女子高校生はむずかしいのは事実です。電車の中で着替えたり、化粧したり、駅の床にすわり込んで花札をやっている極端な者までいます。そんな女子生徒が入学したら大変な事になるわけです。東実の改革がそんな事も含みながら皆の協力でこの難局を乗り切らなければと思いつつペンを置くことといたします。

めっき材料総合商社

株式会社 三 松

本社 東京都大田区西蒲田7-57-11
〒144-0051 TEL (03)3733-7131 (代)
営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45
〒251-0047 TEL (0466)34-1711 (代)

第17期卒 村松 演代

歩く楽しみ

顧問 第17期卒 村松 濟代



平成5年の頃だったと思いますが、私の親しい友人が最近毎朝近所を1時間ぐらい歩いてから会社に出勤したり、休みの日は近所の井の頭公園や野川の付近を歩いてみると、その都度何か知らなかった事を発見するので歩くことが大変楽しくなり、また歩いていると自然のうちに足腰が鍛えられるのでゴルフにも良い影響があるのではないかと思ひ、暇があると近所を歩いているのだというお話を伺いました。朝早く起きるのが苦手の友人から意外な話を聞かされ、私の頭の中にその言葉が何時までもひっ掛かっています。

この話を聞いてしばらく経ってからのことですが、私の右手の親指の付け根に力が入らなくなり、ゴルフのスコアが乱れてきて、ゴルフをすると逆にストレスが溜まるようになってまいりました。長年楽しんで夢中になっていたゴルフもスコアがまとまらなくなってくると次第に興味が薄れてきて、プレーの回数も極端に少なくなってきた頃、友人の言葉を思い出し、思い切ってゴルフを止めて、その代りに運動不足になるのを防ぐ意味でも歩くことに専念してみようと決心しました。

それからは近郊のウォーキングガイドの本を何冊か買い、日曜祭日には思いついた近い所から順次都内の名所旧跡や観光地をひたすら歩き回りました。街を歩いていると今までのように車から見ていた視野とは全く違った景色があることに気がつくと同時に色々な物ごとを発見しました。よその家の庭先の草花や植木の花を見るたび

に四季の移り変りを素早く感じたり、或いは一週間ぐらいの短い期間でも樹々や花の生命が忙しく変わって行く有様を、目で見たり匂で感じたりするようになり、何か別の世界が見えてきたように感じるようになりました。

1年くらいの間、日曜祭日には近郊を歩き回っておりましたが、ある日、日本橋の橋のたもとを通りかかった時に、日本国の道路元標の石が埋められてあるのを発見し、その脇に里程標が石に刻まれてありました。

それによりますと、日本橋から横浜市迄9km、甲府市131km、名古屋市370km、京都503km、大阪市550km、下関市1076km、鹿児島市1469kmと書かれてありました。

その里程標を見ているうちに、近郊を歩いているのも最近物足りなさを感じていたせいなのか、昔の街道を歩いてみたら色々古い物の発見があるだろうし、車のなかった祖先の時代の旅人の苦労だとか、旅に対する諸々の考え方や、自然を楽しみ自然と戦いながら歩き、天空の下で自分の存在を噛みしめ或いは楽しんだりすることも、これから先の自分に残された少ない人生の生き甲斐として、何かしらやりがいのある面白いことではなかろうかと考えました。

そこで平成7年7月9日から東海道を歩きだし、用事のない土曜、日曜、祭日、1月、5月、8月の休日を利用して、他の街道や湖畔、半島、河川などを目下歩きまわっております。

楽しい室内空間作りのお手伝い

インテリア 遠藤商店

〒146-0085 東京都大田区久が原3-34-12

TEL (03)3752-3027 FAX (03)3752-3359

第22期卒 遠藤孝一

お菓子のご用命はアルペリに

和洋菓子、クッキー、焼菓子、ギフトetc
まごころこめてお届けします。

株式会社 アルペリ

〒230-0062

横浜市鶴見区豊岡町7番14号

TEL : 045-581-5441

FAX : 045-573-6116

第23期卒 山本 徳太郎

学校の近況報告

■卒業式と入学式

3月3日(金)平成11年度の卒業証書授与式が行われた。今年は、機械科146名、電気科60名、商業科158名、普通科97名の合計461名が第75期生として巣立って行った。卒業生の進路は大学進学105名、専門学校171名、就職82名、予備校31名、家業その他72名である。

4月7日(金)平成12年度の入学式が行われた。今年度は、機械科146名、電気科81名、商業科177名、普通科79名で合計483名を新入生として迎えた。

■交換留学生渡米

5月5日(金)体育科の浅賀先生引率のもと7名がコロラド州ボルダーへ留学した。生徒達はホームステイをしながら各高校や大学の見学、ワシントンDCを訪問するなど様々な体験をした。とくに日本でも知られるようになった10kmマラソンであるボルダー・ボルダーに参加し、汗まみれになりながらも完走したことは、生徒達の良い思い出となった。グランドキャニオンやハワイにも立ち寄り、6月20日(火)に無事帰国。

■体育祭と東実祭

10月4日(水)平成12年度の体育祭が江東区夢の島陸上競技場で行われた。今年は天候に恵まれず練習も充分には出来なかったが、当日は朝から晴れ渡り、準備をしてきた生徒達を安心させた。広い競技場でそれぞれの種目に観覧席から熱い声援が送られた。閉会式では色別リレーの優勝チームに同窓会杯が贈られた。

11月2日(水)から4日(土)まで東実祭が行われた。同窓会も参加され、昨年に続いてテニスコートにテントを張り、後輩達に負けない売り声でバザーを開いていた。また学校創立78周年の記念式典では、永年勤続の先生方が学校長より表彰された。

勤続30年三山 弘先生、千田一雄先生、馬場文男先生
勤続20年原田忠彦先生、知念義裕先生、佐藤卓司先生

■校内改装

平成13年度から始まる男女共学に向けて、校舎内の改



副校長 嘉戸 直民

装と施設の増設が行われた。主な所は次の個所である。

- 女子トイレと更衣室、ロッカールームを1号館の各階に増設。
- 1号館各階の廊下には女子専用の談話スペースと男女共有の談話スペースをそれぞれ設けた。
- 5号館3階に視聴覚室を作り、各テーブルにTVモニターを配置し、LL教室としても利用できるよ
うになっている。
- 3号館2階には女子専用の部室を増設、更衣室のほかにシャワーの設備も整っている。
- 食堂が奇麗に改装された。天井と床の張り替えだけでなく、窓のサッシをカラーサッシに取り替え、テーブルと椅子も新しくなった。
- カフェテリアを増設。食堂の隣に自動販売機を置き、昼休みなど友達との語らいの場として利用されている。

■職員の移動

新任の先生 上原直輝先生(社会科)

町田美香先生(商業科)

平成12年度(第76期)卒業新幹事名

平成13年3月卒業の同窓会新幹事をご紹介します。

クラス	担任	各クラス2名
M A	佐藤(卓)先生	石倉輝章・松山友行
B	日比野先生	細野 祐・安間力示
C	村上先生	中前雄太・松本直也
D	横田先生	中島正雄・横山源太
E A	須賀先生	伊藤英明・大山武彦
B	小川先生	生田 翔・石渡永人
C A	有田先生	今関裕矢・郡司大助
B	大岩先生	笹川 誠・平野圭輔
C	宮田先生	菊地康行・佐藤俊彦
D	淵田先生	堀 貴史・増田和也
E	工藤先生	阿部拓也・高橋恵太
O A	高橋先生	木下光春・関口賢太郎
B	鈴木(政)先生	坂本隆幸・竹屋敦志

代表幹事長 代表副幹事

(2001年4月より普通科ビジネスコース)

商業科**21世紀のビジネス教育**

商業科長 山口 敏雄

1. スペシャリストを目指して

今や国際化・経済のグローバル化、高度情報通信ネットワーク化等の急激な進展のなかで大きな変化が起こっている。平成11年に改定された「学習指導要領解説における商業教育の対象とする内容」：商業教育の対象を幅広くビジネス、商品の生産・流通・消費に関わる経済諸活動の総称としている。この「商業の諸活動」がこれまで以上に拡大し活動内容の変化や、学校教育の目指す方向の基調の転換から、商業教育の目指す目標を次のように改善することとした。その一つは、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を重視している。その二つは、経済社会の変化に柔軟に対応できる能力の育成にある。

そして、商業の各分野の学習のねらいとしてはマーケティング能力、国際交流能力、会計活用能力、情報活用能力という実践的能力と共に、普通教育をも含む生涯学習の基礎・基本となる能力である。

従来の「職業高校」という呼称を「専門高校」と改め、21世紀の専門高校の商業教育の活性化方策について具体的な提案がなされた。それは「ビジネスの基礎・基本の

能力の育成」である。これはすべての人にとって必要な教育であり、将来のスペシャリストとして必要とされる専門性の基礎・基本の教育に重点を置き、ここで学んだことを基礎に、卒業後も職場や大学等の教育機関において継続して教育を受けるなど、生涯にわたり専門能力の向上に努めることが重要になってきている。

2. 商業科の現況

平成12年度の本県の生徒総数は1,526名、内商業科生徒数531名で1年4クラス177名、2年4クラス165名、3年5クラス189名、商業教員スタッフ14名で新学期を出発した。2・3年生は簿記検定・珠算検定・情報処理検定・コンピュータ利用技術などの検定に取り組んでいる。今春卒業の商業科生の進路も次々と決定している。就職40名、専門学校71名、大学40名、1/30現在となっている。13年4月から始まる学校5日制の実施と、商業科が普通科のビジネスコースに変更にともなうカリキュラムの検討。普通科は男女共学になる事に伴う、付随諸設備の増改善などにあたっている。

機械科

機械科長 増田 修一

同窓会の皆様、こんにちは。

12年度より機械科1年生は3クラス編成となりました。したがって、1年生(担任 河野・井上・志賀各先生方)、2年生(担任 栗原・藤田・村山・千田各先生方)、3年生(担任 佐藤・日比野・村上・横田各先生方)で、合計11クラス507名でスタートいたしました。

機械科としては、まず「もの作り」に興味を持たせ、それについての学習をさせること、在学中に各種資格を積極的に取得させること、友人や先生との人間関係を通して未来の社会人としての自覚を持たせることを基本方

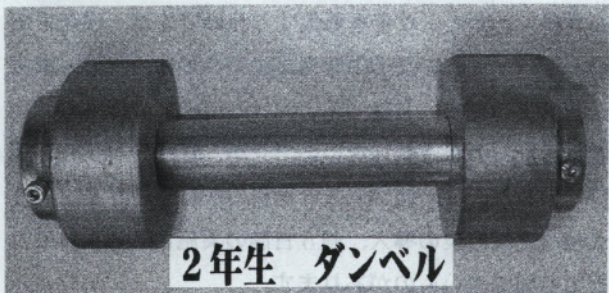
針として我々教員一同、日々努力をしております。

まず、「もの作り」の実習内容は、1年生では溶接実習での折りたたみ椅子(昨年度は傘立て)の製作、電子工作実習でのポケコンカーの製作。2年生では機械実習でのダンベルの製作。3年生では応用工作実習でのスターリングエンジンの製作とカットエンジンの製作、マシニングセンタ実習でのネームプレートの製作などがあります。各種資格は計算技術検定、アーク・ガス溶接、玉掛け・1トン未満移動式クレーン、有機溶剤、特定化学物質取扱主任者などを1学期、2学期の試験休み中に取

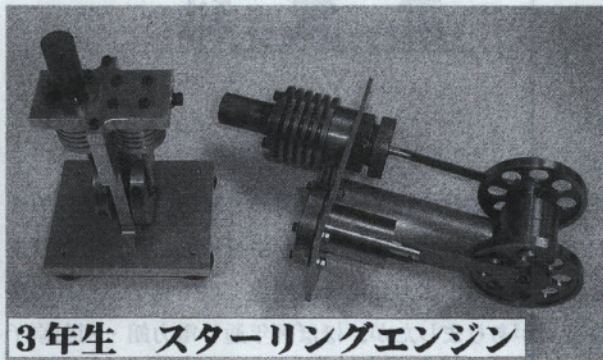


1年 折りたたみ椅子

得させております。9月に行われた体験入学では、機械科の希望者が今年の3倍以上あり、好評でした。これに出席した中学生が少しでも工業（＝もの作り）に関心を持ってもらったら大成功と思っております。11月には東実祭で機械科展を開催しました。1年生から3年生までの作品を展示し、CADの実演を行いました。また、マシニングセンターで参観していただいた方たちにネームプレートを作って差し上げ、とても喜んでいただきました。このように機械科では生徒一人ひとりに合った授業内容、実習内容などをいろいろと工夫をこらして実施しております。来年度も内容などを十分に検討して生徒が興味を持てる授業をしていきたいと思っております。同窓会の皆様にはこれからもいろいろとお世話になるとは思いますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



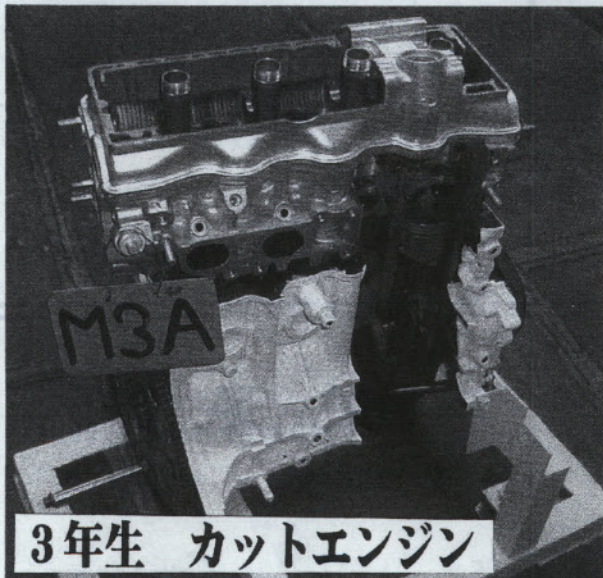
2年生 ダンベル



3年生 スターリングエンジン



3年生 ネームプレート



3年生 カットエンジン

学園祭、音楽会、総合印刷
シンセイ印刷株式会社

〒142-0052 東京都品川区東中延2-4-2

電話03(3784)3565(代) F A X 03(3784)3567

電 気 科



電気科長 佐藤 節夫

恒例の電気科の行事、奥只見の「緑の学園」に3泊4日で、7月7日から参加者1年生を中心に行って参りました。今年は、水力発電所は増設工事で見学コースに多少変更がありましたが、ほぼ例年通り電力館・羽羽原子力発電所と見学し、その合間にスポーツに学習会にと、大自然の中で過ごし参加生徒には楽しい高校生活の一ページを作った事でしょう。

電気科では、2年生を中心に第2種の電気工事士(国家試験)の講習会を実施していますが、筆記試験受験者77名中34名合格、昨年実技試験で失敗した生徒5名を含め、39名を対象に7月30日前日まで実技講習を実施いたしました。受講者全員朝9時から熱心に受講(夏休み中は9時から16時まで)し、最終的に28名合格しましたが失敗した生徒の中の大半は、例年より実技の作業が多く完成できなかった様です。来年は今年の失敗を糧として再挑戦して下さい。

[座学と実習内容の検討]

高校時代は、良い点も悪い点も含めて自分自身を受入

れ、働くスタイルを自分の生き方として考え、個性を生かす生き方を考え、自分を創りあげて行く時である。電気科では電気関係分野を通し、社会の形成者を育成するという学科の目標を達成するために、実習関係の意義を踏まえ、それを有効に活用できる実践的教科と考え、自分と職業・職場の理解、職業観を一寸でもはぐくむ内容のある実習内容を検討中である。また、実際に色々な講習会を実施しておりますが、合格できなかった生徒に共通することは、自己教育力「学習の仕方が分かる」、「学習意欲がある」、「生き方の目処がある程度つく」の3点が不足ぎみの様です。いかにして専門性の基礎基本の確実な定着と自己教育力の育成が必要である。基礎的基本的な内容の確実な定着を図ること及び自らを学び自ら考える力を育成することは、ご承知のように本校だけではなく、全国の高等学校全体の課題と思われます。この問題をどう考え、より良い指導方法があればと模索中です。

普 通 科



普通科長 知念 義裕

同窓生の皆様、お元気でいらっしゃいますか。さて、昨年の会報でご報告致しました通り、東実ビッグバン(改革)が正式に実施される運びとなり、この4月新入生からスタート致します。いよいよ21世紀における新しい東京実業高等学校の幕開けとなるわけです。

今、私がこの原稿を書いている11月末現在で、5回予定されております学校説明会もすでに3回を終えていますが、この中学生とその保護者を対象とする説明会では昨年、一昨年とは比較にならない位、多数の方が参加してくれています。なんと1回目の説明会では、会場となっている地下小ホールに収容しきれず、急遽2班に分け

て実施するという大盛況となっています。ご承知の通り、文理コース(現在の普通科)はビジネスコース(現在の商業科)と共に、女子を募集するわけですが、現在までのところ、大勢の女子中学生が説明会参加のため、東実を訪れています。勿論、蓋を開ける迄はどの程度の志願者数となるのかは判らないのですが、転科の可能性も視野にいれた、又、他コース・他科の教科も学べるという大幅な選択授業の導入、週5日制の実施とあいまって、とても興味深いものがあります。

現在、本校同窓会の諸活動において、女子卒業生のご活躍・存在感については私が申し上げる迄もなく、衆知

の事実となっています。この4月から入学してくる生徒もかつての女子商業科の諸先輩同様、素晴らしい女子後輩として、学校生活において大活躍をしてくれるだろうという期待感を持っています。文化祭での「あすなろ」などは復活するのでしょうか。楽しみにされている先輩方も多いのではないかと、推測致します。

さて、話は変わりますが、現在の普通科生のクラブ活動状況についてご報告申し上げたいと思います。従来か

ら本校の普通科生は運動部系のクラブで活躍する割合が高かったのではないかと考えられますが、現在では、例えば、本年度の東京都駅伝大会で3位入賞のメンバーにも、又、野球部、サッカー部など多数の運動系のクラブでも中心選手として活躍する生徒が非常に多くなっており、今の1年生は在籍80名中、37名が運動部に所属しており、この比率は4科の中で最も高いのではないかと自負しています。まさに文武両道をめざす普通科です。

共学になるための「変化」

生徒会長 日野原昭寿



生徒会にいるのは二年目となりますが、いまだに変な気がします、しかしそれと同時に充実感があり楽しくもあります。

さて、今期の行事の中心は新入生歓迎会であった。各部活の皆さんが協力してくれたおかげで成功に終わることができました。生徒総会の方はというと、今期から開催日が2学期の9月ではなく1学期の6月にうつってしまいました。早めに開催ができることは良いことなのですが、そのために準備が不十分で当日をむかえてしまい結果的にイマイチ不満の残る物になってしまいました。その後体育祭がありましたが、生徒会と体育祭実行委員が協力したことにより、小さなミスはありましたが無事に終わることができました。東実祭は昨年生徒会では東実生徒の意識調査というものをやりましたが、今年は全面的に東実祭実行委員のバックアップが大きく、同委員が1学期からガンバッテ活動してくれたので、当時の入場者数は2,000人という数となり成功に終わりました。

この様な形で進んできましたが、来年から(4月からという意味)共学になりますので今までの行事名のように「男子校として最後の」という言葉が付きまします。この共学化にともなって「変わる物」と「変わらぬ物」ができます。そして「変えていかなければならない物」と、「変えてはいけない物」もまたあると思います。そのことを考えながらこの「変化」が東京実業高等学校にとって大切なもの、そして良いものにするために生徒会として活動して行きたいと思っています。

今回は交換留学生も東京実業に来る番ですし、これからも更に活動は続きますが、今まで先輩方が残してくれた伝統を受け継ぎつつ、この「変化」の中で新しい物を見つけていき、この学校を現状の段階よりもより良い物とするためにこれからも活動を続け、次の代に引き継いで行きたいと思っていますので、どうか皆さんの温いご支援、ご声援の程是非宜しくお願いいたします。

筆燭の典にふさわしい
優雅さと、なごやかさに包まれて…。

儀式が映える伝統の儀式

くらしの友・総合結婚式場
[ア・ペア]

〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-3-5
☎ 03-3732-4150 担当 横溝

○ A 機器、事務用品
事務器、オフィス家具

菊屋浦上商事株式会社

本社 東京都大田区西蒲田7-32-9
〒144-0051 TEL. 03-3737-1551 FAX. 03-3737-1558

本店 東京都大田区西蒲田7-45-8
〒144-0051 TEL. 03-3737-1550 FAX. 03-3737-1569

神奈川店 神奈川県相模原市相模原6-26-7
〒229-0031 TEL. 0427-54-9211 FAX. 0427-54-9051

ツライ店 東京都大田区西蒲田7-65-3
〒144-0051 TEL. 03-3735-3651 FAX. 03-3737-1569

同窓会近況報告

平成12年度 収支予算書

自 平成12年4月 1日
至 平成13年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	12年度予算	備考	科目	12年度予算	備考
前年度繰越金	4,964,143		事務消耗品費	800,000	
終身会費	5,300,000		通信連絡費	450,000	
寄付金	100,000		印刷費	300,000	
広告費	80,000		会議費	700,000	
総会会費	500,000		総会費	800,000	
旅行会費	1,000,000		旅行費	1,200,000	
新年会会費	1,000,000		新年会費	1,200,000	
受取利息	857		慶弔費	200,000	
雑収入	0		卒業生記念品代	300,000	
			助成金	500,000	
			会報発行費	700,000	
			積立金	4,000,000	
			予備費	300,000	
			次年度繰越金	1,495,000	
合計	12,945,000		合計	12,945,000	

平成11年度 収支決算書

自 平成11年4月 1日
至 平成12年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	11年度予算	11年度決算	科目	11年度予算	11年度決算
前年度繰越金	4,779,022	4,779,022	事務消耗品費	230,000	262,238
終身会費	4,600,000	4,620,000	通信連絡費	450,000	383,492
寄付金	100,000	250,000	印刷費	300,000	199,993
広告費	80,000	84,000	会議費	300,000	259,930
総会会費	500,000	250,000	総会費	800,000	444,872
旅行会費	1,000,000	950,000	旅行費	1,200,000	1,244,255
新年会会費	1,000,000	576,000	新年会費	1,200,000	767,180
受取利息	978	940	慶弔費	500,000	488,944
雑収入	0	188,780	助成金	500,000	15,000
			会報発行費	500,000	486,675
			積立金	4,000,000	2,000,000
			予備費	500,000	182,020
			次年度繰越金	1,580,000	4,964,143
合計	12,060,000	11,698,742	合計	12,060,000	11,698,742

平成12年度 事業報告

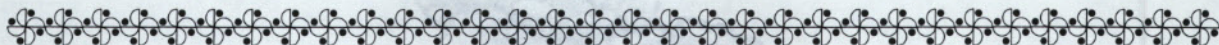
- 総務委員会**
- 常任幹事会開催の準備等。
 - 各卒業の幹事の方へ同窓会参加への強化。
 - 総会：平成12年6月3日(土)15時～18時。
 - 懇親会：会場・蒲田プライダル・パレス「ア・ペア」会費5,000円。
 - 同窓会会報誌第12号発行予定。
 - 当会に必要と思われる会合・行事への参加。東実祭の折校章入りの「どら焼き」を引き続き販売予定。

- 事業委員会**「新年会・旅行会等に関すること。含む周年行事等」
- 旅行会平成12年9月9日(土)～10日(日)

- 西伊豆方面、会費28,000～30,000円程度、バス1台の人数を予定。
- 新年会：平成13年1月27日(土)。
- 場所：会費については未定。
- その他の事業に関する事項等。

- 運営委員会**
- 会計（総括）。
 - 予算。
 - 会則に関する事等。

- 組織委員会**
- 名簿の整理。
 - 各委員会の要請により名簿の提出・整理。



退職に当り「雑感」

研修所所長 是枝 昌旭



本校研修所に勤務し6年余、校長先生をはじめ教職員、事務職員、用務員の方々の御援助指導の元に無難に過ごすことが出来ましたことに対し、心より御礼申しあげます。

郷里を後に上京し40数年が経ち、高度経済成長初期に学校を卒業し無我夢中で過ごし後を振り返ることも出来ませんでした。研修所に赴任し元気な生徒達とふれ合うことにより高校時代の頃が甦ってきました。

私達の高校時代は高下駄に大きな黒い風呂敷に教科書と筆箱をまきつけ、脇にかかえ学帽をかぶり「カラコロ」と音をたて乍ら通学しており、この三年間で人生の進路人間形成の原点が構築された大事な時期であったと思います。

本校でいろいろな行事に参加させてもらい、特に野球

部員とは毎日顔を合わせ秋の新人戦に始まり、春の関東大会、夏の甲子園への東京大会等、グラウンドでプラスバンド部を中心にOB父兄会、生徒一丸となつての応援は私に感動と若さをふつふつと湧きたたせパワーを頂き一段と若さを取り戻し元気を与えてくれました。

時代も変り学生の環境も変化して来ましたが、高校時代に教えていただいたことは昔も今も変わらず人間形成の基礎となるものと思いますので、勉学に体づくりに頑張っていたきたいと思います。

研修所の花壇の間に植えた「甲子園の蔦」も夏には元気に壁に張り付いて野球部員と共に成長していくことと思います。甲子園を目指し頑張ってください。

輝ける21世紀に向けて東京実業高校の一層の飛躍を念願いたします。

おいしい料理での新年会



第41期卒 滝口 房枝

1月22日(土) 18時30分から、新横浜フジビューホテルにおいて同窓会(有志)の新年会が職員13名、会員男性55名、女性22名の参加により、盛大に行われました。

しばらくぶりに学校のある蒲田駅周辺から離れ、新横浜へ会場を移した新鮮さと、JR横浜線、新幹線、横浜地下鉄等、足の便の良さから参加者が増えたものと思われれます。

司会者の進行により、山本会長、上野雅子理事長、上野毅校長の挨拶、各科の近況報告、職員の紹介があり最後に女性が来年度から入学してくるといううれしいお話を頂きました。

その後、永年本校の教育にご尽力下さいました社会科の尾藤先生、事務職の大森先生に同窓会から花束を贈呈いたしました。

宴会のお料理は、日本料理、中華料理、西洋料理のすべてのバイキングで、内容が豊富しかも味良しと好評でした。先輩、後輩のへだたりなく楽しい会話があちこちで続き楽しい時間が過ぎていきました。

新年会を盛り上げてくれた同期生の多数参加をうれしく思います。

最後に手土産を頂き大満足のうちに散会いたしました。また、来年お逢いできる事を楽しみにしております。



第75期卒業生集う 若さの定期総会開かる



第22期卒 井上 實

平成12年6月3日(土)例年より早めの日程で午後3時より蒲田プライダルパレス「ア・ベア」にて行われた。

総合司会を本田副会長の美声に始まり、開会の辞に箕輪副会長、山本会長の挨拶に続き、学校長からは来年度より女子部の再設募集についての説明があり、同窓会の同意を求められた。共学についての同意書は全員一致の決議で賛同を得た。

今年度は役員改選の年であり、副会長2名の新旧交替(井上、森田氏新任)を認められた。

会長については現山本会長が留任するが、病弱の理由から今年度より会長代行制度を採用し、本田会長代行が選出承認された。

閉会の辞を新森田副会長の挨拶で活気ある議事をすべて無事終了した。

記念撮影を16~37期と38~75期の二班に分け撮影終了後、会場を一階に移し和田幹事の司会で懇親会に入った。75期生13名の紹介に始まり、会長、顧問、理事長、来賓の東京高校同窓会長山本氏より御挨拶を頂戴した。

料理もほぼ食べつくし、タツプリとアルコールも飲み乾して楽しい初夏の夜を満喫し、校歌斉唱後白田幹事の閉会の辞で締めた。

二次会場も40数名の出席を見て、75期の若人達の歌声で貸切りのパブ「鈴蘭」にて唄い酔い、未来の同窓会を75期に期待して散会した。

平成12年度 東京実業高等学校 同窓会定期総会 (16期~37期) 2000.6.3 蒲田アベア



平成12年度 東京実業高等学校 同窓会定期総会 (38期~75期) 2000.6.3 蒲田アベア



同窓会旅行と一発のピンタ

第17期卒 羽下 良夫



9月9日の今日は、東実同窓会慣例の懇親旅行日である。今年には伊豆巡りである。遠方のため新潟を前日に発ちホテルに泊まっての参加である。大森東急インを7時に朝食をすませ急いで支度をして電車に乗る。フト車内を見上げると東実高校来春入学男女生徒募集の写真入りの広告が目に入る。来年は生徒が増えると思う。3分程で次の蒲田駅で下車する。丁度登校のラッシュアワーと見えて颯爽として行き交う大勢の東実生徒と一緒に学校に向う。昔、詰め衿・金釦で通学した頃が懐かしい。校門前で上級生（5年生）が待ちかまえてきびしい服装検査があったこと等を思い出す。私は家の都合で昼間の中学校に行くことができず高等小学校を卒業すると近くの富士電機的设计課の給仕として入社したのですが、或る日、上司の星宮係長から「これからの時代は中等教育位はでていないといけない。君は機械よりも商業に向いていると思うから夜間の商業学校に入学したらよい。商業学校を卒業したら君に適した職場を世話して上げる。会社は5時終業であるが登校の都合によっては30分早く退社してもよい様に計って上げる。」と言われたので、このことを両親に報告し両親も喜んで賛成してくれたので早速東実夜間に受験し入校したのが16才の時でした。若し星宮係長のお諭しがなかったら私の人生も変わっていたかも知れない。星宮さんは当時大森山王に住んでおられたが卒業の翌年2月に私は応召、その後家族は戦災のため故郷新潟に疎開するということになり星宮さんとは疎遠になってしまったが感謝の気持は忘れたことがなかった。

さて蒲田駅から徒歩5分程で学校に着く。バスは既に待機している。出発20分前。今日参加の同級仲間4人のうち自分が一番早いと思ったら3君は先に乗車して私の席まで取っておいてくれている。友は有難いものだ。佐々木、岡田の2君と通路を挟んで元某高校々長を退職した松永君の4人一列に並んで坐る。バスは定刻8時30分に発車する。横浜ICから東名高速に上り御殿場ICから246号線を南下し一路伊豆を目指す。途中「代官」という名の大きなドライブインで食事休憩をする。腹ごしら

えがすむと出発、途中修禅寺を経て目的地に向かうのであるが修禅寺は私達の1泊2日の卒業記念旅行の思い出の宿泊地であった。昭和17年は太平洋戦争の真只中であり先生も生徒も空襲にそなえて全員巻脚半の旅行であった。私達の宿泊した丸久旅館は当時桂川の中州にある、「とっこの湯」の近くにあったが4、5年前に少し離れた場所に新築し「まる久ホテル」として広々とした庭つきの立派な和風ホテルになっていた。昔の面影は全くないが名前が懐かしいので立ち寄ったところ支配人の様な方が出てこれらロビーでお茶等サービスしてくれた。前上野校長御夫妻が亡くなられた年のクラス会が丸久旅館であった。（残念乍ら都合で私は欠席してしまった。）一クラス会で宿泊したことを覚えていた様だった。私達が四年生の頃河野先生という若い先生が着任してこられた、主に商業簿記等の商業関係を教えられたと思いが角力取りの様な体格で一見こわそうな感じの先生であったが私共とは年齢の差があまりないので何となく皆兄の様な近親感を抱いていた様だった。或る日の始業前に先生が開口一番「到頭シンガポールが陥落した。国のために戦死された将兵の方々に黙祷を捧げる「黙祷始め」の号令で一瞬教室内が静寂となったがそっと薄目を開けてみたら松永君の普段と違ったさとりを開いた坊さんの様な真面目な顔がおかしくなり、ついに吹き出してしまったのです。「しまった」と思ったが既に遅く河野先生の足音が私の前でピタリと止まり静かにメガネを外され、あの大きな手の平で一発の大きなピンタを載ってしまったのです。その時線香花火の様な目から火花が出るという言葉を初めて体験しました。間もなく昭和17年12月に3学期なしの繰り上げ卒業となったが、卒業を待っていたかの如く召集令状を戴き翌年2月1日には郷里村松の雪の東部68部隊に入隊し、19年2月には風雲急を告げるビルマに補充要員として赤き血潮を胸に現地に着任しましたが、やがて戦況利あらず転進に次ぐ転進で身の危険のせまる時には卒業以来別れた友を想い若し生きて還えることが出来たらもう一度先生のピンタが懐しく思ったことでした。ところが丁度その頃河野先生も海軍大尉と

してビルマの灼熱の南印度洋のアンダマン列島の守備隊として活躍しておられたことを後で知ったのです。奇縁とは云え先生と私は眺める場所は陸と海の違いはあっても夜空にきらめく南十字星を仰ぎ見て私と同じ思いで故郷を忍ばれたことと思います。

先月の10月8日に同級会を川崎の割烹「大沼」でやりましたが、理事長、校長の両先生とご一緒に久しぶりに河野先生もご臨席下さいまして盛会裏におわることができました。河野先生は昨年傘寿の祝賀会を迎えられたそうですが、最近まではセンチュリー監査法人の会長をされておられ、まだまだ赫灼としていろいろご多忙の毎日のご様子に感服申し上げております。今でも私共の仕事の上で大変役にたつニュースをたびたび送っていただいて只管頭の下る思いがいたします。先生はこわい乍らも国を想いそして東実の生徒として自分が教えた生徒が常識ある立派な社会人となって忙しい願いが自然と厳しい表現になられるのだと思います。実は生徒を思う優しい先生であったのです。

お天気もよくなり心地よいバスの揺れと昨夜の寝不足のためかウトウトと眠りを誘う。夢うつつの中にいろいろなことを頭に浮べているうちにバスは目的地土肥に到着する。宿泊する桂川シーサイドホテルは名の通り海に

面した眺めのよい近代的な大きなホテルである。ロビーで部屋割りがあり我々同級4人は5階501号室である。分りやすい番号である。部屋で一休みしてから皆で風呂に入り一日の疲れを癒す。6時半より大広間で海鮮舟盛料理で大宴会が始まる。まず全員で記念写真を撮る。理事長、校長両先生のお話に始まり会長の挨拶があり、続いて村松顧問の大盃一気呑みの乾杯でいよいよお楽しみの大宴会が賑やかに始まった。わいわいガヤガヤ、酔いがまわった頃にはいつの間にか皆が輪になって盆踊りが始まっていた。宴会のあとは別室のホールを貸切りで二次会兼カラオケ大会と相なった。若い者は元気がよい。私は小さい頃からひどい音痴のため松永君と2人はホールを抜け出て下のラーメン屋で支那竹のつまみで一杯やる。2人の話は尽きないが足元が危なくなってきたので部屋に戻る。佐々木、岡田の両君はまだ部屋に居ない。二次会もまだまだ盛り上っているのだろう。歌の唱える人がうらやましい。睡魔が襲ってくる。良いコースよいホテルを設定してくれた名司会の田所さん始め幹事さん方のご苦勞に感謝し乍ら心地よい眠りにつく。

よき師よき友にめぐり合わせた私は幸せである。

明日も一日楽しみが待っている。松永君はもう眠った様だ。



59年の試練を越えて 10人と紅1点



第16期卒 青木 茂夫

戦争、終戦焼け野原、飢餓、職探し、バブル中は頑張った。そのハジケと共に現役を終った。現在無職……。そんな40年の現役時代だった。その生き残りの心が集まった。とき、平成12年6月10日(土)13時。つゆ入りの明るく、曇り22度。ところ、鶴見駅西口翠華楼、紅一点理事長先生のご来臨で一段と明るくなった。

13時開始簡単な挨拶、理事長先生の近況報告、もう飲み出している。乾杯の音頭は追っ駆けてやる始末、もう

賑わっていて、小宮は大声で欠席者のメッセージを読んでいる。ワン卓ゆえんなんか聞きとれた。

倉石カメラマンはぐるぐる巡っている。

店から寄贈の紹興酒はすぐ無くなる。幹事は終了の頃合い計っているが止まらない。給仕氏は呆れて来なくなった。もう4時だ、会計報告を終ったのは4時半だ。

次回の約束13年6月9日(土)13時を確認し合って終わった。



方円会 第16期 翠華楼にて
平成12年6月10日

オーダーメイド専門

企画から製品まで(多少なりとも製作します)
ファイル・バインダー・表示板・掲示板・黒板・ディスプレイ
紙・ビニール・プラスチック・金属・ゴム・繊維・木製品 その他
米軍、銀行、航空、船舶、外国商社等納入

企画・製作

株式会社 伊藤商店 ☎(03)3241-1496・1497
東京都中央区日本橋本石町4-2-2 〒103-0021

第18期卒 伊藤 勝啓

スポーツのことなら!

しろかね 白銀スポーツ

ユニフォーム・スポーツ用具
用品・施設・工事一般
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7
TEL(03)3754-8679 FAX(03)3754-4845

第37期卒 白銀 正明

民間車検場

東京陸運局長指定第2-637号

各メーカー・新車・中古車・販売・車検・钣金・塗装
☆事故についてのご相談承ります☆

モリタ自動車

〒230-0023 横浜市鶴見区市場西中町4-17
☎ 521-4521(代)
FAX. 504-5676
大東京火災海上保険株式会社代理店

第41期卒 森田洋司

電灯電力設備内外線工事、設計施工

大山電気工事株式会社

〒220-0001 横浜市西区北軽井沢56
TEL.(045)311-9750 FAX.(045)320-6660

第43期卒 大山修一

新二千円札に想う



第17期卒 松永 千里

東実の懇親旅行に行った時に新しい二千円札をつり銭に貰った。初めて貰った二千円札なのでじっくりと見てみると、その札の図案に源氏物語の作者、紫式部が記載されていた。紙幣に女性が登場したのは1881年であるから、119年ぶりである。

政府は明治4年12月に、ドイツに発注した紙幣を発行した。ドイツ製であったので「ゲルマン紙幣」とか「ドイツ紙幣」などと呼ばれた。しかしこの紙幣は粗悪で、二セ札も多く現われるようになったので、明治14年2月に旧紙幣と交換される改造紙幣として、一円札が発行された。その際政府はお札のデザインを変えて従来の欠点を改良し、印刷局最高の技術を駆使して美麗なる紙幣を製造した。これが我が国最初のすぐれた国産の紙幣で表面に神功皇后の肖像が印刷されているので、俗に「神功皇后札」と言われた。また菊の紋が入っていたので「菊花章紙幣」とも呼ばれた。図案、原版製作はドイツで印刷技術を習得したイタリア人、キオソーネである。しかし、この紙幣の肖像はおよそ神功皇后と似ても似つかぬ顔だったため、肖像のモデルに銀行の美人行員がなった

といわれているが、キオソーネが彫刻したのでヨーロッパの人の顔つきをしているといわれている。

その後日本の紙幣は、明治10年の西南の役に巨額の戦費が投入されたので、紙幣流通高は急激に増加しインフレーションが進行した。明治14年大蔵卿に就任した松方正義は決死の覚悟をもって紙幣整理を断行した。まず官庁経費を節減し酒造税を引き上げ、売薬印紙税を新設することにより、収入を増加させて紙幣整理に成功した。改造紙幣は近代化への新産業に投下され、わが国における資本主義の形成に大きな役割を果たした。

九州、沖縄サミットの成功と不況にあえぐ日本経済を打開するために、発行された二千円札には「神功皇后札」で成功した明治時代の夢をもう一度と、紫式部を登場させたのであろう。しかし今のところ残念なことに景気はなかなか回復しないが、それは松方正義のような勇気のある人材が今の政治家にないからかも知れない。今度は紙幣だけでなく松方正義のような女性政治家が出てこない日本の財政危機は立ち直らないのかも知れない。

16年目の手紙

学校長 上野 毅

21世紀元旦「昭和60年3月16日付」東京実業高等学校宛の元校長故上野幸一先生からの年賀状が配達されました。つくば科学万博会場からでした。中に半紙一枚に「能言者未必能行」上野幸一とだけ書いてありました。

国語科の志賀先生に読んでもらいました。「ヨクイウモノハイマダカナラズシモオコナウコトアタワズ」

「口だけの者は必ずしも行動がともなう訳ではない」という論語の中の一節にあるとのこと。元気だった頃投函され、亡くなった後メッセージとして届く、ジーンとくるものがありました。「口だけでなく進んで行動を！」の心で21世紀を生きようと思います。



能言者未必能行

上野幸一

吹奏楽部の誕生

星千 水谷 平蔵 執筆

私の入学は昭和13年4月でその当時は、東京実業学校と云っていました。旧制でしたので5年制です。本来は昭和18年3月が卒業月ですが戦時中のことでもあり、昭和17年12月に繰上げ卒業でした。学校の推薦もあり東京霞ヶ関の海軍省（本省）経理局に海軍筆生（翌年理事生）として採用され、上級海軍士官ばかりの中で軍属として勤務しました。

さて、木造校舎時代の学校が空襲で全焼したのは私の卒業後の昭和20年4月15日（実は3月10日東京空襲）と聞いております。終戦の僅か4ヶ月前のことでした。その5年近くの在学中はいろいろな事がありましたが、58年前を振り返り吹奏楽部の芽生えから戦中の全盛期について書いてみましょう。

●吹奏楽部の誕生

「東実学報」の創刊号か第2号にも一寸書いてみたのですが、その最も始めは昭和14年の頃でした。当時は軍隊喇叭が5・6個あったのみで軍事演習（昭和12年7月支那事変＝日中戦争）のとき行軍の先頭にたってトテチテターと進軍ラッパを吹いていたのですが、当時私が入っていた川崎の青年団から楽器を一つ二つと借りてきてやりはじめたのが最初で、その翌年の昭和15年は丁度紀元二千六百年で学校でも記念式典がありました。天長節、紀元節、明治節等の祝日も式典を行っていました。全生徒登校です。先づ上野熊蔵校長が式辞を述べ、次が国歌斉唱です。私がトランペットを持って全校生徒の前に立ち「君が代」の前奏を吹くと壇上の鷹野宗太郎先生が大きく腕を振って指揮をとります。

その後戦局も苛烈を極わめ「一億一心」が叫ばれ学校

第18期卒 坪井 治



でもプラスバンドの必要を認め楽器の購入資金を出してくれました。私は2・3名の部員をつれて神田辺りまで出掛け、楽器も段々と増え楽隊らしくなってきました。そしてどういう訳か最初の指導教師は支那語担当の後藤先生でした。

同期の松村君が私と同じトランペット、19期の細江和四郎君、柴田昭一君、吉川修二君あたりがコールネットトロンボン、クラリネット等を担当しました。

16年、17年には軍事訓練で富士山麓の滝ヶ原、板妻廠舎に何泊かで出掛けました。重い三八式歩兵銃を担いで山野を駆け廻る大変な訓練です。私等音楽隊は一般兵舎でなく小さい乍らも一棟が与えられ楽な思いをした事を覚えています。快晴のマツ白い富士山をバックに撮った記念写真が今手元にないのが残念です。

昭和16年12月8日太平洋戦争が勃発。地元蒲田町内で出征兵士の「兵隊送り」が頻繁に出るに及んで学校に楽隊出動の要請が続出。私達は提灯や旗・行列の先頭を勇壮な「軍艦マーチ」や「日の丸行進曲」でまた蒲田八幡神社では荘重な「海ゆかば」を演奏し、蒲田の繁華街を堂々とねり歩いたことを青春の一コマとしてはっきりと思い浮べることができます。

そして戦争もますます重大さを増し、校舎を灰燼に帰し、吹奏楽部も何回も休部となり、また廃部となりながらも復活し、遂にはNHK紅白歌合戦に出場し、また全国高校大会でも11年連続金賞を獲得、そして最高峰のグランプリ賞を受賞し「東京実業」の名を日本中に轟きわたらせた大偉業には心より喝采を叫ぶものであります。

酒類のことなら何でも相談承ります

酒の 旭 屋

東京都大田区西蒲田7-49-10

☎ (03)731-7111 (代)

第34期卒 瀬戸 秀彦

木造住宅耐震補強工事
建築・土木防水工事
リフォーム工事

渡辺商会 知事許可
(般-9)第5472号
渡辺正信

2級建築施工管理技士

〒235-0023 横浜市磯子区森6丁目11番20号
TEL.(045)761-3010(代) FAX(045)761-9570

第37回専門学校卒 渡辺 正信

同じ窓で育った同期会



第23期卒 塩野 理二

第23期の平成12年度同期会は、7月1日午後1時より、川崎カメリアホール（JR川崎駅ビル）にて開催された。参加者は17名で、会務報告や会計報告が行われたあと、一人3～4分の持ち時間でスピーチが行われ夫々が簡単な近況を紹介した。

引続き宴会となり、約3時間、正に時のたつのを忘れて有意義なひとときを過した。語り合いの中に、必ず出てくる話題は、小生も前号で記述した通り、在学中校舎焼失による苦難の道中のことである。特に故上野熊蔵校長先生のご指導のもと、教師・生徒が一体となって、不自由な環境を乗り越えて、学校の進展に心を寄せ合って歩んだことである。

また、事務報告の中では、小島（浩）さんが、来年から実施される男女共学に関する紹介をされ、持参したポスターを会場に貼り、小冊子を配布するなど母校の新しい動きに一同思いを寄せた。

23期は、同期会のスタート以来会場を母校の地元であ

る蒲田駅周辺で開催してきたが、久し振りに多摩川を渡り、川崎駅ビルを選んだが在学中に目の辺りにしていた戦争被災地川崎市が、急速なる復興をなしとげて、代表的な近代都市に変貌したわけで、中心地駅ビルでの開催は、さわやかで心の暖まる雰囲気を楽しむことができた。母校の隣接地としても心強い限りである。

現在、同期生の一人ひとりが、現代社会の中で夫々の立場の上で、力強い歩みを続けているが、戦争中色々な面で、不自由な暮らしの中に育ったお互いではあったが、今比較的に身体健全な方々が多い。夫々立場は違っても同期生の心の中に持続されていることは「東京実業の同窓会に育った」という共通点である。私達はこの言葉をモットーとして母校の発展の中で、山本現会長さんを中心に同期会を盛り上げたいものと念願している。

（なお、13年度は6月の土曜日開催を決める。また、今回の会場世話取りは宮島氏、写真は最上氏のご協力を得た。）



事務局だよ

卒業生と学校とを結ぶ唯一の機関紙、この「同窓会報」は今回で第12号になります。一人でも多くの卒業生に見易く、親しまれ、また卒業生相互の和を広め、母校との絆を保ち続けられる様に編集係一同張り切っておりますので、今後共よろしくお願ひします。

平成13年度の行事予定

同窓会では毎年下記の行事を行っております。

記

1. 定期総会 6月9日(土) pm5:00「ア・ベア」
2. 懇親旅行(9月中旬頃・土、日) 行先等未定
3. 新年会 平成14年1月26日会場等は未定

上記行事には、どなたでも参加出来ます。事務局にお尋ね下さい。案内書を送付いたします。

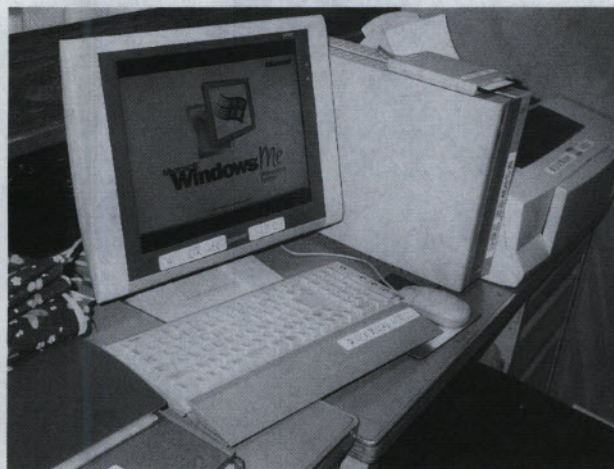
トピックス

◇同窓会事務局にパソコンが入りました。
機種はPCV-LX50G LX30/BP
会員の皆さんもどうぞお使い下さい。

◇東京実業高校のホームページは、
<http://www.tojitsu.ed.jp/>

◇この春(平成13年3月)退職される方
小牟田清一先生(英語科)・岡野美和子先生(保健)
椎橋正守先生(電気)・上野隆三さん(用務員)・
是枝昌旭、英美さん(研修所)

以上6名の皆さんが退職されます。永い間ご苦勞様でした。



事務局にパソコン入る

宮本先生歿す

昨年暮恩師宮本先生が亡くなられたことが心配してお訪ねになった嘉戸副校長から連絡を頂いた。誰の介護を受けるでもなく唯一人座を正して亡くなられたことを聞き人生の終りに処する態度を示された思いがする。東実だけでなく大学で又職場で悩んだ時、先生を訪ねてその温厚誠実な人柄に触れるだけで如何に愈されたことだろうか、先生の訓練のお陰で吾ら25期卒業生は今日あることを痛切に感ずる。既に彼岸に旅立たれ山口県下松市最上霊園に眠る御魂に対し深く御礼申し上げます。

—25期 章幸会幹事 吉村和重—

訃報のお知らせ

- | | |
|-----------|-----------|
| 第15期 安藤泰夫 | 第17期 中西信久 |
| 第15期 斉藤道哉 | 第19期 勝島彦一 |
| 第17期 清水隆一 | 第25期 伊藤 豊 |
- ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

東実祭に当り学校より3Fのブースを提供された。1期より75期までの卒業アルバムを展示したところ、在学生や若い卒業生達がキャーキャー云々見ていた。また、21期卒の男性がガリ版刷りの卒業証明書を持ってきて、孫の受験希望を伝える、早速校長に紹介できたことは同窓会室も無駄ではなかったと感じると同時に、歴史の深さを感じた。(M・I記)

発行総務委員(会報担当)

- | | |
|----------|-----------|
| 委員長 井上 實 | 委員 坪井 治 |
| 委員 天野 昇 | 委員 戸田 三光 |
| 委員 加藤 憲治 | 委員 中山 廣一 |
| 委員 塩野 理二 | 協力者 青木 茂夫 |
| 委員 関根 秀夫 | 事務局 米田 仁昌 |